

道路・橋りょう・公園・河川・排水機場

道路、橋りょう、公園等は、災害時の避難・救援、その後の復旧・支援活動の要となる都市基盤施設であり、その役割は極めて重要である。厳しい財政状況等の課題はあるが、計画的・効率的な防災対策の推進に向けて、より一層の取組強化を図らなければならない。

【今後取り組むべき事業】

[道路]

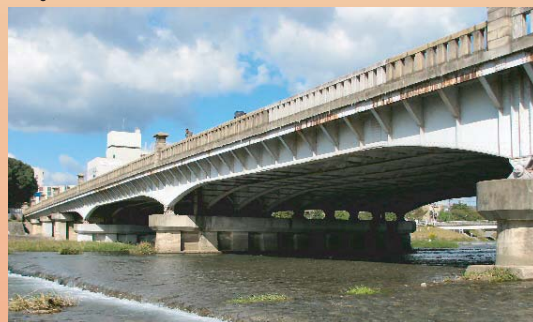
- ・通行止をできるだけ短時間で解除するなど道路機能の早期回復の視点を取り入れた防災カルテの見直しや、緊急性を考慮した優先路線の設定など重点化した山間部の道路における防災対策の一層の取組強化
- ・京都市公共物GISを活用した防災点検パトロールの効率化

[橋りょう]

- ・「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づく耐震補強、老朽化修繕のスピードアップ

[公園]

- ・防災施設としての位置付けを明確化した公園の新設及び再整備の推進
- ・公園内の防災ベンチやかまどベンチ、マンホールトイレ等の積極的整備



- ・防火水槽の不足している地域には、公園内設置の推進

[河川]

- ・下水道施設整備と連携した効率的・効果的な河川改修の一層の推進
- ・雨水調整池など雨水流出抑制対策の推進

[排水機場]

- ・排水機場の長寿命化計画策定等による円滑な整備・更新の推進
- ・道路のアンダーパス部の排水施設の維持管理、機能向上の推進

文化財

防災の取組で重要なのは、人の命を守ることであるが、京都市においては、文化財を守ることも非常に重要であり、文化財の存在を抜きにして京都のまちは考えられないと言っても過言ではない。

【今後取り組むべき事業】

- ・文化財の自動火災報知設備、避雷設備、防災水利等の整備
- ・文化財建造物の耐震診断・耐震性能向上のための取組の推進
- ・美術工芸品の展示物や収蔵品の転倒防止対策の推進
- ・災害発生時の文化財関係の行政機関相互の情報共有の一層の推進

